

令和 5 年度指定管理業務
指定管理者第三者評価委員会評価結果

道の駅藤川宿

	I 適正性 評価	II 有効性 評価	III 効率・安定性 評価	総合評価
担当課当初評価	適	良	良	A
担当課当初評価に対する第三者評価結果	妥当	甘い	妥当	甘い
担当課最終結果	適	良	良	A

< 第三者評価意見概要 >

担当課の評価は、甘いと判断する。

有効性に関して、利用者アンケートの結果から事業者の提案事業の内容は魅力的であり、利用者の満足度が高いことがうかがえる。

また、効率性・安定性の評価に関しては、施設の機能向上のためにコンビニエンスストアの委託化による事業形態の変更等に取り組み、効率的な管理運営に寄与していると考えられる。

一方で、有効性評価の面で考えると事業スキームの変更等を踏まえた目標数値の設定が適切であるとは言えず、評価に一考の余地がある。

業務は基準に基づき適正に実施されており、また、指定管理者による施設の来客数を伸ばすための努力は認められるため、行政として評価する上での適切な目標設定を検討したうえで、今後も指定管理者による積極的な施設運営がされることを期待する。

＜担当課最終結果の説明＞

※ 担当課が当初の評価から変更しない場合にその理由を記載

目標設定の考え方として、本施設は収益施設であるため収支が黒字となることが重要と考えております。コンビニエンスストアは、本年度からの委託化により昨年度の収支と比較して 53% 向上しています。また、コンビニエンスストア以外の収支では、昨年度比 24% の向上を実現しました。これは、当初目標としていた 3 % を上回っていることから、Ⅱ 有効性評価について、「良」と評価いたします。